

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	35	担当部課名称	経済部農業水産課
事務事業名	農業用排水路維持管理事業		
見直しのタイトル	浚渫・草刈の委託化		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

行政が行うべき水路の浚渫・草刈りについて、これまで地域に協力いただく形で就農者自らで浚渫・草刈りを行っていただいていた。しかし、就農者の減少や高齢化により、地域で作業を続けていただくことが困難となったため、現在は農業水産課職員が作業を行うこととなり、残業時間の増加要因となっている（昨年度実績2～5名×15日）。

浚渫・草刈り作業は、他課ではすべて委託で行われているが、農業水産課の作業量では委託費が小額となることから職員が直接作業に携わっているため、通常機械で行うような大きな水路についても職員が人力で浚渫作業を行っている（下水道河川管理課では平成27年度より完全委託となっている）。このため、作業効率が非常に悪くなり多くの時間を要すだけでなく、腰痛を発症する職員も現れ、他の事務に支障をきたしているケースがみられる。

また、これらの業務に携わる必要があるにも関わらず、農業水産課職員は下水道河川部や建設部の職員と違い破傷風の注射を接種していない。

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

### 【趣旨】

他課で既に導入している事例等を踏まえ、浚渫・草刈り作業の委託化を図る。

### 【具体的内容】

次の工程を踏まえた後、次年度からの委託実施を目指す。

- ・直接作業及び委託実施の場合のコストを比較。
- ・委託にあたっての課題及び検討事項の洗い出しを行う。
- ・洗い出した課題等に対する解決策の検討

## 3 改善により期待できる効果

職員の作業時間を減少させることによる残業時間の削減、ワークライフバランスの確保、職員の健康を促進する。さらに、緊急時の対応を含め効率的な維持管理を行っていくことで、農業者の安心・安全な営農環境を確保する。

#### 4 実施スケジュール（概要）

7～9月	他課の事例研究及びコスト比較の実施、課題の洗い出し及び調整
8～11月	次年度予算への反映
12～3月	仕様書等の作成等、次年度契約準備
4月	発注・草刈り業務委託の開始

#### 5 実施結果の振り返り

年度当初からの契約に向け、仕様書などを整え、委託業者と契約ができた。委託化することで、職員での発注・草刈りを減らすことができるようになり、年休取得率は昨年度と比べ大幅に増え、職員のワークライフ・バランスの確保が可能となった。しかしながら、予算の範囲内での委託料となるため、職員での発注・草刈り作業をしなければならない事案もあった。